

対話でつくる！

「にも包括」の協議の場 チェックリストの使い方

モデルA市のコアチーム会議をのぞいてみましょう



A市の概要

- 人口は約6万人、高齢化率は約30%です。
- 交通利便性が高く、ベッドタウンとして発展してきました。
一方で、市内には都市化が進んだ地区と伝統産業が受け継がれている地区があり、地区によって人口構成や生活環境に違いがあります。
- 精神保健福祉に関する社会資源としては、市内に精神科クリニックが3か所あるものの、精神科病院はなく、市外の医療機関と連携しています。基幹相談支援センターを設置しており、就労系障害福祉サービス事業所が比較的充実しています。
- 家族会は高齢化が進んでいるものの、いまだ活動的です。
近年はピアサポーターの活動が広がってきています。

「にも包括」協議の場について

- 事務局は障害福祉担当課です。
担当は4年目のZさんです。
(A市に専門職として採用されて10年目です。)
- 協議の場は、保健所の後押しがあってH30年に設置しました。途中、コロナ禍で活動が停滞しましたが、Zさんが担当になってから再開しました。
- これまでは精神科病院からの地域移行を中心テーマに、国報告書が示した‘構成要素’を一つずつ、現場の声を拾い上げながら協議してきました。

対話でつくる！「にも包括」の協議の場チェックリスト

「にも包括」事務局を含めたコアチームが協議の場を進めていく際の流れを想定し、時系列に沿って、各段階で確認や協議、点検ができるよう設計。

コアチームの中で活用し、それぞれの時期に必要な話題について対話を深める手がかりとしてもらうことを目的に作成。

協議の場の導入のメリット

- 立場や所属が異なる関係者でも、共通のツールを見ながら話し合うことで認識を共有しやすくなる。
- 担当者個人の経験や力量だけに頼らず、一定の手順で協議を進めることができる。
- 話し合いの経過や決定事項を書き残せるため、取り組みの経過や成果を振り返りやすくなる。

目次

フェーズⅠ コアチームをどのように構成していきますか？
体制編

フェーズⅡ 「にも包括」の協議の場になっていますか？
基本情報編

フェーズⅢ 我が街を眺めると、どんなことがわかりますか？
地域診断編

フェーズⅣ 年度計画をどのように予定していきますか？
設計編

フェーズⅤ 協議の場をどのように運営していきますか？
運営編

フェーズⅥ 振り返りはどのように行っていきますか？
評価編

1年間の各フェーズの実施イメージ



*進め方は、事情や状況に応じて順序を入れ替えても構いません。

新年度、担当部署内でのやりとり



(担当:Zさん)

今年度も「にも包括」の担当だ。今年は何から始めよう…。

「にも包括」の理解は少しずつ広がってきたし、地域移行に向けた体制づくりも進んできたからなあ。



事業を進めることだけ考えてきて、計画のことは、あまり頭になかったな…。

そういえば、協議の場のチェックリストを紹介してもらったので、まずは
コアチームの皆さんと整理してみよう。



(上司)

Zさん、今年度の計画はどう考えていますか？

第8期障害福祉計画作成に向けて、新しい成果目標も示されていますね。今年は何に取り組んでいくんですか？

基幹

医療機関

事業所



チェックリストを使って協議の場の現状を振り返ってみます

「できている・できていない」を確認するためではなく、今の状況を振り返り、関係者と対話するきっかけとして活用します。

フェーズⅠ 体制編

- ☐ 自治体内の単一部署にとどまらず、精神保健や精神障害者福祉に関わる庁内部署と協働できる体制になっていますか
- ☐ 庁外の関係機関（基幹相談支援センター、医療機関、保健所など）と協働できる体制になっていますか
- ☐ 近隣における精神科医療の提供状況を把握できる体制になっていますか
- ☐ 都道府県や圏域の協議の場の実施状況を把握できる体制になっていますか
- ☐ 「にも包括」に取り組む際の方向性や具体的な進め方について全体を踏まえた助言を受けられる体制になっていますか
- ☐ 「にも包括」の理念を踏まえ、**我が街の目指す姿**を多様な立場の人が話し合える体制になっていますか

フェーズⅡ 基本情報編

- ☐ 構成員に「にも包括」の理念と、協議の場の目的を共有していますか
- ☐ 地域の精神保健医療福祉の課題を検討する場になっていますか
- ☐ 目標の合意から実行、振り返りをするために、年に複数回開催していますか
- ☐ 精神障害をもつ人や**精神保健に課題をもつ人**が支援の対象として考えられていますか
- ☐ 構成員に保健・医療・福祉の関係者が偏りなく含まれていますか
- ☐ 精神障害をもつ人やその家族等の意見や思いを聴く機会が設けられていますか



「課題ばかり見ていたけれど、『目指す姿』はあまり話し合ってこなかったな」

「精神保健に課題をもつ人かぁ、これまでにはあまり支援の想定にしていなかった」

チェックリストを共有したうえで、コアチームでの話し合い(5月)

約4分

議題1 コアチームどうつくる

チェックリストの項目を眺めてみていかがですか？



このチームは本音で話せる雰囲気はありますよね

でも「目指す地域の姿」を考えたことはなかったですね

第三者的な立場の人から、俯瞰的な意見をもらうことも確かに大切ですね

これまでのメンバーを基盤に、多様な立場から話し合えるよう、コアチームを見直していきましょう

議題2 協議の場の目的を確認

法改正で精神保健に課題を抱える方も対象と明確になりました



なかなかイメージつかないので、まずは構成員全員で共有したいですね

重症化予防という観点からも大事ではありますね

そうすると保健分野の機関にも加わってもらいたいですね

今のメンバーでも十分な気もしますが・・・一度、相談してみるのもいいですね

対話のヒント

・事務局だけで抱え込まず、地域の目指す姿をともに考えるメンバーでコアチームをつくりましょう。
・「どの部署に参加してもらうか」だけでなく、「誰なら気兼ねなく話し合えるか」の視点を大切にしましょう。

対話のヒント

・コアチーム内で、「協議の場」のイメージや目的を確認してみましょう。
・精神保健に課題を抱える住民を含め、対象となる住民像を整理してみましょう。

チェックリストをもとに、年度計画を具体的に決めていきます

協議の場の開催前に地域アセスメントを行い、実行性の高い年度計画につなげます。



フェーズⅢ 地域診断編

- ☐ 住民が、心の健康や精神疾患について正しく理解できるような取り組みが行われていますか
- ☐ 住民が自らの心の不調に気づき、適切に対処できるような取り組みが行われていますか
- ☐ 心の不調が疑われる住民を、専門職による相談につなげられる体制は整えられていますか
- ☐ 精神科医療を必要とする住民が、適切なタイミングで受診できる体制は整えられていますか
- ☐ 医療機関と地域支援者が協働して、入院早期から地域移行に向けた支援が行われていますか
- ☐ 精神科病院の入院患者に、医療機関と地域支援者が協働して、権利擁護に必要な支援が行われていますか
- ☐ 精神障害をもつ人を含めた家族（世帯）に包括的な支援が行えるよう、関係機関の連携が図られていますか
- ☐ 精神障害をもつ人が、他の人と平等に、希望に基づく就労や社会活動に参画できるよう、必要な支援や機会が確保されていますか
- ☐ 精神障害をもつ人が地域で生活するために必要な資源やサービスを過不足なく提供できる体制は整えられていますか

フェーズⅣ 設計編

- ☐ 国の施策の動向や都道府県、圏域の協議の場の動きを踏まえて計画を考えられていますか
- ☐ 関連する他の協議会などの担当者と意見交換はできていますか
- ☐ 関連する自治体計画の内容や目標を取り入れることを検討しましたか
- ☐ 地域アセスメントや関連する情報をもとに、年度目標を明確に決めましたか
- ☐ 年度目標に対して、実施した内容の成果を確認できる活動指標や測定方法を考えていますか
- ☐ 協議の場の構成員は、目標やテーマに応じた顔ぶれとなっていますか
- ☐ スケジュールは、事前準備が十分にできる無理のないものになっていますか



「地域アセスメントは私一人ではできないな。コアチームにも協力してもらおう」
「他の計画や協議会とのつながりも意識してみよう」

新たなメンバーを加えたコアチームでの話し合い(6月)

約4分

議題1 地域を見つめ直す



精神保健・医療・福祉、それぞれの視点でA市を見つめ直してみよう



住民の相談や受診は、どのくらい対応できているのでしょうか

地域移行に関しては、サービス利用は少ないですが、意識は広がってきましたよね



市のデータを見ると、このような傾向があります

住民や当事者の声も確認しながら進めたいですね

議題2 年間計画どうするか



国の方向性も踏まえて、今年度の計画を考えていきましょう



現場ではメンタルヘルスに関する相談が増えています

精神保健に課題を抱える方も、安心して暮らし続けられる地域を目指したいですね



A市の計画とも関連づけると、成果も確認しやすくなりますね

これまでの取組も踏まえながら、無理のない年間計画にしましょう

対話のヒント

- ・地域の強みや課題を共有し、優先して取り組む事項を話し合いましょう。
- ・データと現場の実感の両方を活用し、地域の状況を整理しましょう。

対話のヒント

- ・「目指す地域の姿」を踏まえ、年度目標と評価方法はセットで考えましょう。
- ・目標に応じて、協議の場の構成員や開催頻度、議題を検討しましょう。

開催前に、運営のポイントをあらためて確認してみます

協議の場を円滑に進めるためには、事前準備が重要です。

フェーズⅤ 運営編

- ☐ 協議の場の目的や年度目標が構成員に共有されていますか
- ☐ 構成員が所属機関内の意見や専門領域としての見解を持ち寄って、協議の場に参加できるよう事前に働きかけていますか
- ☐ 資料は、データの提示だけでなく、整理や分析を加えた形で提供されていますか
- ☐ 会議が円滑に進み、構成員が安心して参加できるようなルールが共有・徹底されていますか
- ☐ 構成員が主体的に意見を出しやすい進行となっていますか
- ☐ 課題の抽出や個別支援事例の検討にとどめず、今後の取組につながる提案まで話し合われていますか
- ☐ 精神障害をもつ人やその家族等の声を受け止め、議論に反映できていますか
- ☐ 必要に応じてワーキンググループを設置するなど、柔軟な運営ができていますか
- ☐ 毎回の議事録を作成し、構成員に共有していますか



「会議当日までの準備についても、コアチームと一緒に考えていきたい」
「意見がしやすい雰囲気をつくっていく工夫も考えていこう」

初回の協議の場に向けたコアチーム会議(7月)

約4分

議題 どのように運営するか



7月の第1回に向けて
議題や進め方を整理し
ましょう



新しい構成員がいますから、
まずは理念と目的を共有す
ることから始めましょう

地域の状況を持ち寄り、
地域アセスメントの結果を
共有するのはどうでしょう



事前にアンケートを行っ
て意見を整理しておき
ましょうか

心のサポーター養成は、みん
なで取り組みやすいテーマか
もしれませんね



国の動きやA市の計画
も共有できるよう、議
題に入れますね



医療と福祉の連携は頑張って
きたので、これからは保健と
の連携も進めたいですね

そうすると、構成員の範囲
を、一度見直してみるのも
必要になりますかね

であれば「根回し」や「御用
聞き」は丁寧にやっていか
ないとですね



ありがとうございます。初回は地域の状況を共有し、
保健もテーマの一つとして話し合ってみたいと思います

対話のヒント

- ・ 協議の場の理念と目的を共有し、構成員が意見を出しやすい雰囲気づくりを考えましょう。
- ・ 事前に情報共有や役割分担を行うなど、協議の場の準備と終了後のフォローを進めましょう。
- ・ 活動内容の報告だけで終わらずに、その取組による地域や住民の変化についても話し合いましょう。

年度最終回の開催前に、評価項目を確認し、その方法について共有していきます

年度の取組を振り返り、次年度の方向性につなげます。

フェーズVI 評価編

- ☐ 「にも包括」の取組が地域や業務に与える影響を、構成員の実感も踏まえて確認していますか
- ☐ 集約した課題を、個別支援、地域の支援提供体制、制度や政策といった観点に分けて整理していますか
- ☐ 精神障害をもつ人やその家族等から評価を得る機会を設けていますか
- ☐ 協議結果を関係者や住民に周知する機会を設けていますか
- ☐ 有識者などから客観的かつ全体を踏まえた意見を得る機会を設けていますか
- ☐ 成果の指標とした取組の実施結果をもとに、年度目標の達成度を評価する機会を持っていますか
- ☐ 次年度に向けて、定めた年度目標を終結とするか継続とするかを検討していますか



「構成員だけでなく、住民や当事者の声も評価に活かしていきたいな」

「次年度に『何から始めよう？』とならないよう、今のうちから話し合っておこう」

年度最終回に向けたコアチーム会議(2月)

約4分

議題 評価、まとめについて

年度最終回に向けて、まずは今年度の取組を振り返りましょう



精神保健のことを構成員に違和感なく伝わってよかった

目指す姿を意識して進めるのは難しかったけれど、大切なことだとわかりました

心のサポーター養成は準備が整いました。来年度は取り組みそうです

住民だけでなく、利用者や支援者にも参加してもらえよう声を掛けてみたい

活動の評価についてはどのように考えていきましょうか



すぐに成果が見えるわけではないけど、構成員の精神保健の理解度は深まったかなと

保健センターが加わったことは大きな成果でした。個別支援にもつながっていますね

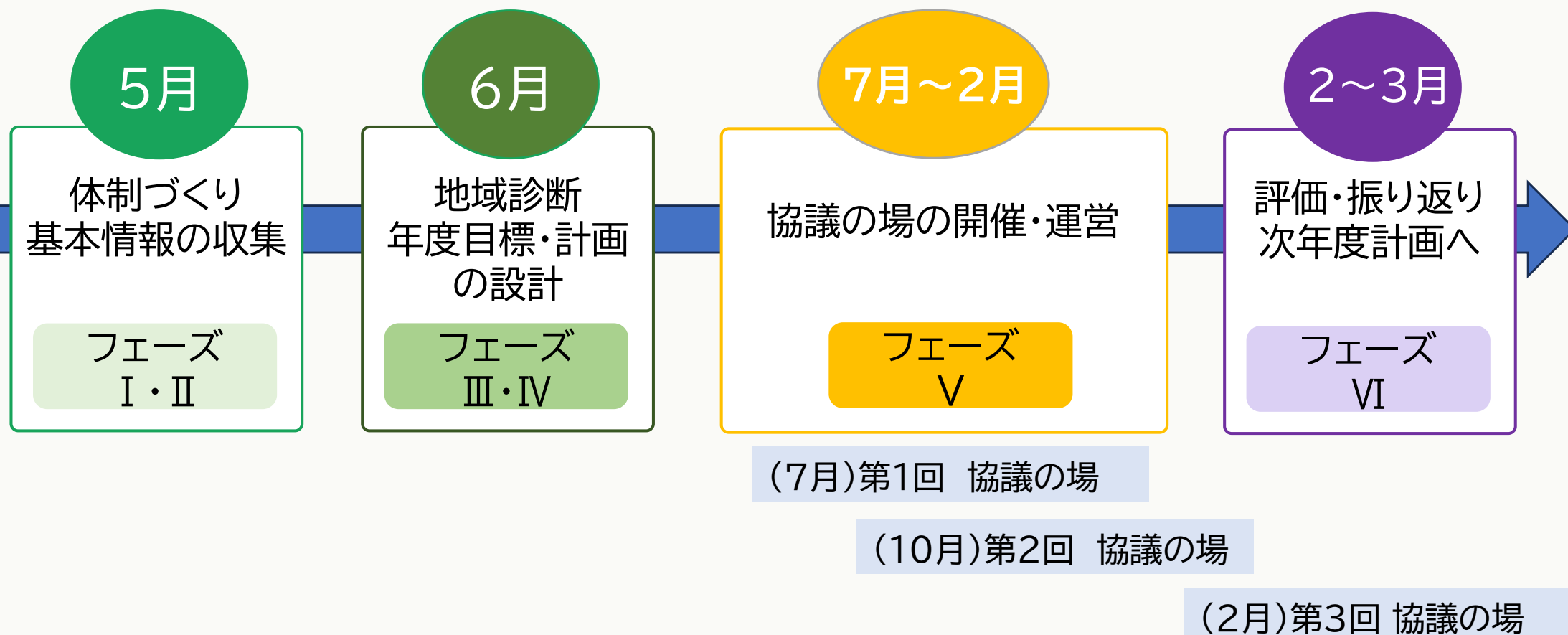
今年度の取組をまとめて共有し、次年度に向けた意見もいただきたいですね

ありがとうございます。今年度の取組を整理するだけで終わらず、構成員の実感、地域の変化など評価の視点で構成員から意見を求めてみたいと思います

対話のヒント

- ・ 年度目標や取組を振り返り、地域や住民にどのような変化が生まれたかを話し合いましょう。
- ・ 取組の成果を関係機関や住民にどのように伝えるかを話し合いましょう。
- ・ 次年度につながるよう、振り返りの内容や運営方法を整理・共有しましょう。

A市におけるチェックリスト活用の1年(コアチーム会議のイメージ)



コアチーム会議は、協議の場の開催前に実施することがポイントです。地域住民のために、どのような協議の場を企画・運営していくかを、官民協働で考えていきます。